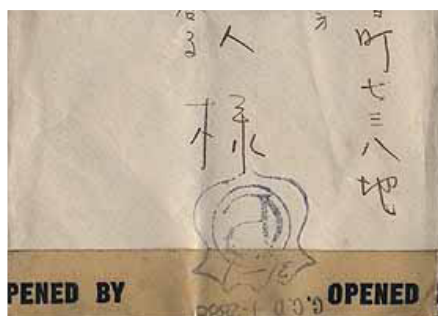


155 回 稲門フィラテリー切手教室 レジュメ

2019年10月5日

占領軍による郵便検閲

宮鍋 益治



<http://mineralhunters.web.fc2.com/kenpotoyubinkenetu.html>

日本国憲法と占領軍による郵便検閲
甲府郵趣 2017 年 4 月号

第二次大戦後の

占領軍による郵便検閲

切手教室資料

R.1. 9 5 (宮鍋)

— 日本切手百科事典より(鎌太郎)—

連合国軍総司令部 (G.H.Q.)

昭和20年10月1日 郵便と通信の検閲開始を指令

民間検閲部 (C.C.D.=Civil Censorship Detachment)

東京地方検閲部 大阪地方検閲部 福岡地方検閲部 名古屋分局

◎ 東京地方検閲部

北海道全域、東北6県、関東7都県、中部地方の内新潟、長野、山梨、静岡の各県

◎ 札幌地方検閲部 昭和23年12月6日新設 北海道全域

◎ 大阪地方検閲部

中部地方のうち富山、石川、岐阜、愛知、三重の各県、近畿7府県、四国4県

◎ 大阪地方検閲部名古屋分局 大阪地方検閲部管内のうち岐阜、愛知、三重3県

(大阪の分局として上記3県下の郵便検閲を行っていたが、昭和23年中には廃止され、以後はすべて大阪でおこなわれるようになった。)

◎ 福岡地方検閲部 中国5県、九州7県

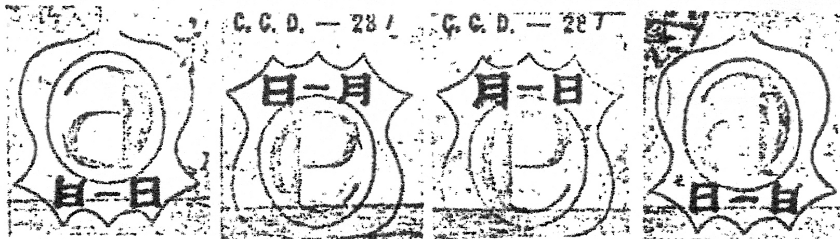
検 閲 印

POST CENSOR (郵便検閲)

C. C. D. — 数字 時連合黒人の固有暗号

C. C. D. J—数字 Japanese 日本人の検閲官の固有番号

検閲印の正逆、検閲日の記入(月日)のしかたの区別により検閲場所が特定できる。



福岡検閲部

大阪検閲部

名古屋分局
札幌検閲部

東京検閲部

初期の検閲印には日付が入っていない。

日付の表示も不統一であった、西暦年号の入ったものがある

検閲免除印

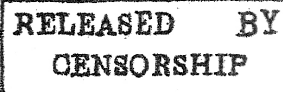
Released By Censorship

検閲免除印 検閲機関まで運ばれたが内容を検閲されずに済んだ郵便物に押印

RELEASED BY CENSORSHIP

RC1 縦15~16ミリ×横44~45ミリ
灰青色(灰黒色)と赤紫色
初期(昭和20年~21年)

RC1



RC2 文字の大きさ 長さ76~77ミリ×高さ12~13ミリ
青色(灰黒色)と紫色
初期(昭和20年~21年)

RELEASED BY CENSORSHIP

RC2

RC3 直径32~33ミリ
赤紫色と灰青色(灰黒色)
東京地区で使用

RC3



RC4 直径25~26ミリ(円の中の2本の線は接触している)
赤紫色
福岡地区で使用



RC4

RC5 直径24~24.5ミリ
赤紫色、赤、淡桃色
大阪、名古屋で主に使用

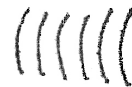


RC5

RC6 直径21ミリ
自動押印機を利用して押印、昭和22年中頃より使用
6本の波線(26ミリと36ミリの2種)の入ったものあり
灰青色(灰黒色)、赤紫色、黒色
東京、大阪が大部分であるが全地区



RC6



封緘紙

手紙を開封したとき部分を補修するための無色透明のセロテープ

OPENED BY U. S. ARMY EXAMINER CS1

昭和20年~21年

米国陸軍検閲官によって開封

初期のみ

OPENED BY MIL CEN-CIVIL MAILS CS2

民間郵便軍事検閲官によって開封

占領軍による郵便検閲

昭和20年 4月 1日から
昭和21年 7月24日まで

書状(20g迄) 10 銭

下 谷
20年7月19日
東 京 都

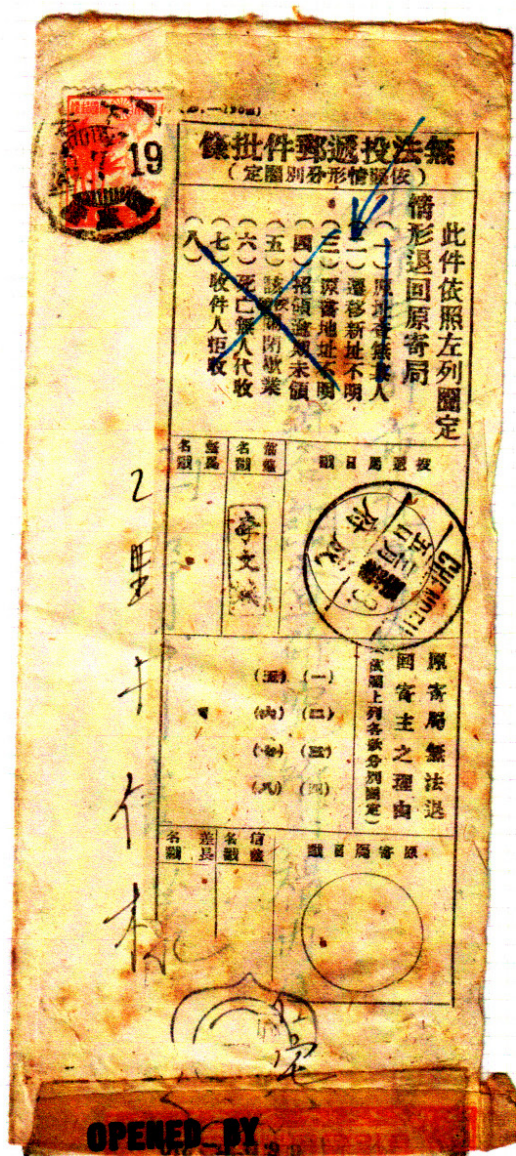
◎ 戦時下検閲
「大日本帝国逓信省」封緘

(中国北京特別市宛)

◎ 受取人転居先不明付箋
成府局CHENGFU

(日本へ返送)

◎ 占領軍の検閲
「MIL. CEN. -CIVIL MAILS」セロテープ



占領軍による郵便検閲

昭和20年 4月 1日から
昭和21年 7月24日まで

書状(20g迄) 10銭
はがき 5銭

不明
21年3月?
大阪府

二重検閲

日本人検閲官の検閲後に
連合国人による再度検閲

(1)上部開封

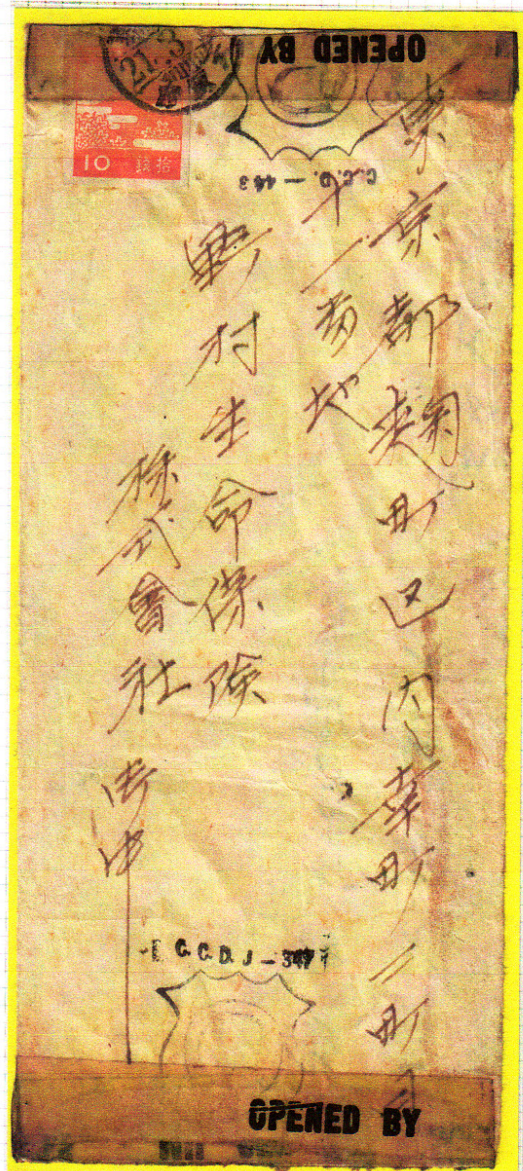
検閲印(PC印)
C. C. D. -443
日付なし

C. C. D. - 連合国人検閲官
Civil Censorship Detachment
(民間検閲部)

(2)下部開封

検閲印(PC印)
C. C. D. J-347 (←小文字)
日付なし

C. C. D. J- 日本人検閲官
Civil Censorship Detachment
Japanese (民間検閲部)

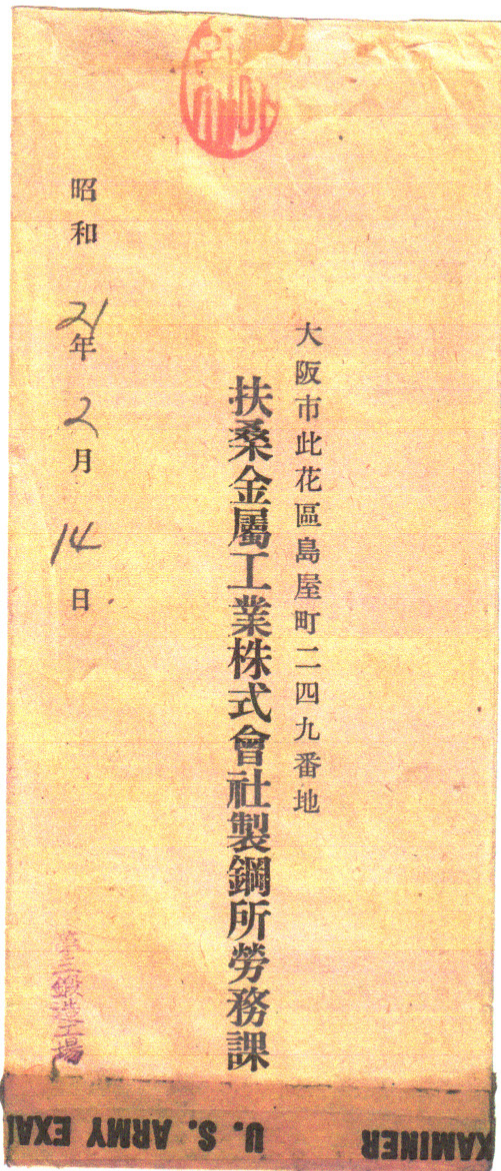


占領軍による郵便検閲

封緘紙

CS1

OPEN BY U. S. ARMY EXAMINER
米国陸軍検閲官によって開封



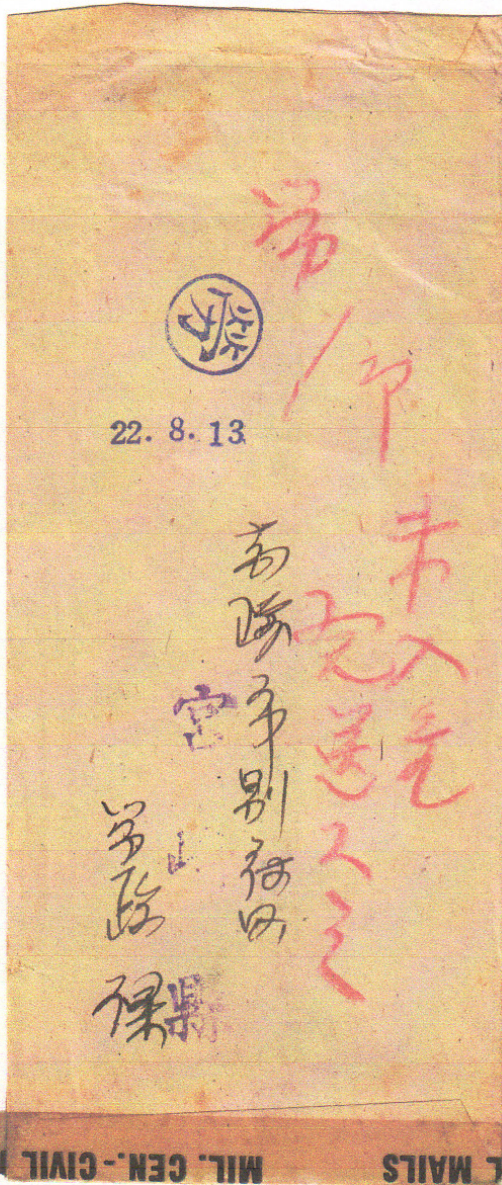
占領軍による郵便検閲

封緘紙

CS2

OPENED BY MIL CEN-CIVIL MAILS

民間郵便軍事検閲官によって開封



第 1 次昭和切手

外国郵便料金の変遷と使用切手

昭和21年 9月10日から

昭和22年 3月31日まで

外国向け料金

書状(20gまで) 1円
20g超20gごとに 50銭増し
はがき 50銭

景雲寺

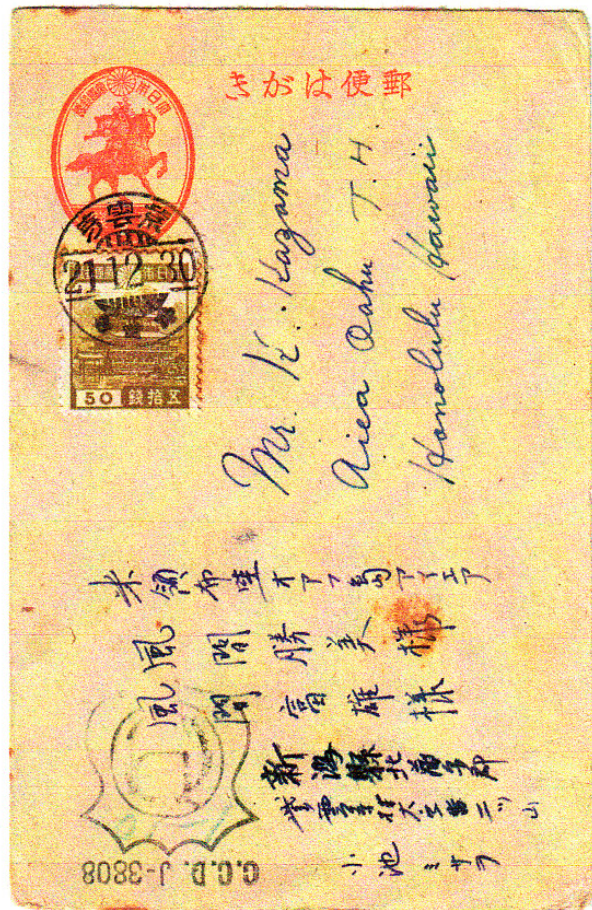
21. 12. 30

★★★

検閲印

C. C. D. J-3808

1月10日(東京)



昭和21年9月10日外国郵便が再開された。但し、民間は葉書に限られ、
書状は昭和22年1月10日から可能となった。

新図案炭鋌夫50銭切手

21. 4. 15 発行

占領軍による郵便検閲

東京地方検閲部

北海道全域、東北6県、関東7都県、中部地方のうち新潟、長野、山梨、静岡の各県

米国ニューヨークからの外信航空便を日本で検閲

NEW YORK, N. Y. OCT 9 7-PM 1948 (昭和23年10月7日)



検閲印(PC印)

C. C. D. J-3718

10月15日

C. C. D. J- 日本人検閲官

Civil Censorship Detachment

(民間検閲部)

占領軍による郵便検閲

東京地方検閲部

北海道全域、東北6県、関東7都県、中部地方のうち新潟、長野、山梨、静岡の各県

昭和22年 4月 1日から	書状(20g迄)	1 円20銭
昭和23年 7月 9日まで	はがき	5 0 銭



検閲印(PC印)

C.C.D.J-3950

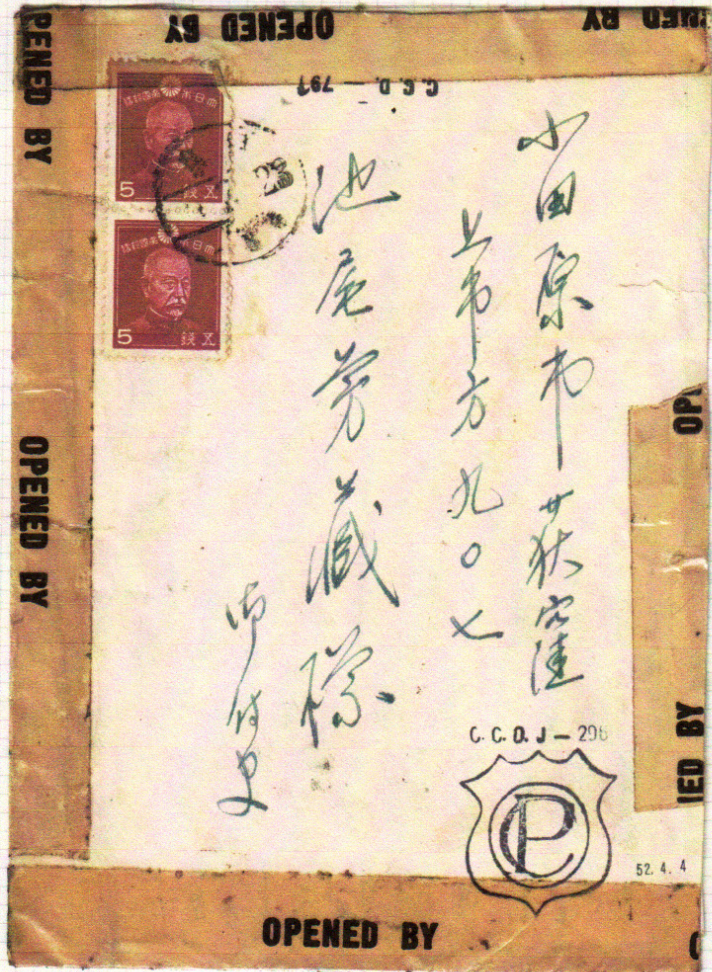
1月9日

検閲印(PC印)

C.C.D.J-3337

5月27日

占領軍による郵便検閲



昭和21年9月23日
7

C..C.D.J-206 日本人検閲官
C..C.D.- 797 連合国人検閲官